

# 音楽とは 横への感性なり!

合唱団ホームページアドレス  
<http://www.wiengifu.org>

9  
月号

2020年9月1日  
編集・発行  
ウィーン岐阜合唱団

7月、8月は長森コミュニティーセンターにて、岐阜・大垣の合同練習でした。そして、コロナ第二波の到来で、9月も大垣会場での練習再開が実現できませんでした。その状況の中、継続して大垣から数名の方が岐阜会場で合同練習に参加されています♪♪

## 感謝の言葉



大垣アルト 清水範子

私は、新型コロナウイルスが今全世界の人々に向かって、こんなことを言っているのではないかと思うのです。「国と国とが、自国のことだけのためや利益を優先して戦ったり争ったりしている場合ではありませんよ！お互いに思いやり、助け合っていく心を大切に下さいよ！」と。

皆さんならば、どうお考えになられますか？

今までは、限られた地域内や国内においての病気や戦争、そして自然災害に苦しめられることが多かったです。しかし今回は違います。全世界がグローバル化してきたこともあって、新型コロナウイルスはほとんど同時に人から人へと感染して発病が広がっていく事態になっています。新型コロナウイルスにとっては人間または生物であれば良いのです。国境も民族の区別もなく人にとりつきます。私が70歳を過ぎてからウィーン岐阜合唱団へ入団した時の心情を、今思い出しました。

ウィーン岐阜合唱団の演奏を聴きに行った折、ロビーコンサートを聴くため早めに会場へ着きました。その時、演奏者のための椅子を黙々と並べておられるお方をご苦労様と思いながら眺めておりました。

本番のコンサートが始まり、先ほどのお方が平光先生ご本人であったことを知り、二度感激をしました。このような行動をとられるお人柄の先生がいらっしゃれば、団員の皆さんもきっとお優しい方々に違いないと安心して入団させてもらいました。

音楽には人と人との心を繋げていける絆の力があると思います。平光先生の音楽を、体で感じ心に取り入れるまでの練習には努力が要りますが、楽しく皆さんとの声が「和」した時には喜びを感じます。そして、一瞬悩まされている新型コロナウイルスのことも忘れるのです。

7月からのウィーン岐阜合唱団の練習再開をご決断していただきました平光先生、そして、ウイルス感染リスク回避のためアイデアを駆使しつつ、合唱団を支えてくださっているスタッフの皆さんに感謝いたします。

高齢の身のため、遠方よりの練習出席は困難ですが、多くの皆さんのおかげで参加させていただいております。ありがとうございます。音楽から学んだ人と人の心の繋がりを大事にしつつ、ウィーン岐阜合唱団の皆さんとともに向上していけますことを願っています。



## コロナこそカーリルでドローン

岐阜・バリトン 坂井俊郎

令和2年の1月27日に武漢情報が届いてからわれわれは“コロナ感染”のシャワーを浴びながら、常に個人として、集団として試され続けているように思う。

カレンダーをめくりながらの予定確認が不要不急となり、人間関係が薄れる怖さを味わう。言葉を換えれば歌を忘れたカナリヤ化を怖れる。気のせいかな身の回りでは電話や立ち話の時間が少しずつ長目になっている。人恋しさにさいなまれるというのはこういうことか？ 個人的には、親が残した荷物を片付けながら「お前はこれからどう生きるんや？」と問われる日々と重なっているが、現在地球規模で起こっていることの最大公約数が、人の心のベクトルの矛先が等しく自分自身に向かっているということに他ならない。もう少し時間を掛けて自分を見つめようと思う。

さて、勝手ながら半年ほどさかのぼってみたい。“感染”がまだ他人事に思っていた頃というより、夏の『戴冠ミサ』のラテン語に出会った頃である。顔を見合わせれば「暗譜は無理！」のオンパレード。知ってか知らずか、誰かさんは知らん顔。みんなで訴えれば流石のマエストロも従うしかあるまいと鷹を括っていた。鷹を！

小生はその頃気になって仕方が無い所でも悩んでいた。8月の定演では『戴冠ミサ』と『わがひとに与ふる哀歌』が組まれていたのであるが、チラ読みしてみると、

意志の姿勢、見わたる目の発明、如かない、遍照さずのみ……

日本人であることを否定されたような気がした。記録によると12年前にも夏の定演で発表されたという。いつか経験談を聞かねばなるまい。作詞は伊東静雄、作曲は中田直宏とあるが、共に曲者に違いない、マエストロ平光が作品とどう折り合いをつけてきたのか？ ミサ曲を覚える一方で、不安は確実に膨らんでいった。調べてみたい！と思ったそんなときに書籍検索『カーリル』と遭遇した。何と分かり易いネーミングなこと！ 詩人伊東静雄の資料発掘作業が始まった。カーリルは自宅に居ながらドローンよろしく県内の図書館や書庫に舞い込んで資料の有無を調べ回ってくれたが、これは実に楽しいドライブであった。 たたけ！されば扉は開く。

カーリルのお陰で出来上がった伊東・中田の手製年譜を眺めてみよう。

明治生まれの伊東静雄は29歳の時に処女詩集『わがひとに与ふる哀歌』を発行し文芸汎論賞に輝いたが、賛否両論あったことには変な安堵感を覚えた。この天才詩人は昭和28年に47歳で没したが、溢れんばかりの才能を発揮した完全燃焼の人生であったろう。詩の表現・解釈には特別なことばがあることを初めて知った。

次に作曲家中田直宏。昭和14年に名古屋に生まれた彼は音楽的才能に恵まれ、溢れんばかりに力を発揮している。詩人伊東の没後3年目に宮城道雄は「浜木綿」を作詞作曲し、直後に事故死を遂げる。その翌年に菊里高校3年の中田は校内の定演で部長として自作のオペラ「はまゆう」を発表したという。追悼の意味もあつたらうか？ 中田と宮城の間には2人だけの想像を超えたケミストリーがあつたとしか思えない。

この未恐ろしい高3生は東京藝大で作曲を学び、昭和41年に新設愛知県立芸大に着任した。そこで指導を受けた一期生の中にマエストロが居た。中田27歳、平光19歳の時である。中田は国内外での音楽活動を通じて「暗譜指揮法」に開眼し、オペラまで暗譜した。平成13年には合唱曲「わがひとに与ふる哀歌」を初めて演奏、62歳の時である。ここまでくると、日頃から暗譜にこだわるマエストロ平光の根底部分が見えてきた。在学中はひたすら中田から face to face で指揮法を学んだ彼のことで、自分にも他人にも譲歩はありますまい。

来年日の目を見ることになるであろうこの曲については、練習中に一度でも良いから作曲者の思いを直にお聞きしたいものである。楽しみの一つにしたい。

(以上敬称略)



## 7月から、ピアノ伴奏でご指導いただいています、和田紋加先生からのメッセージです！



7月から木曜日の長森コミュニティセンターでの伴奏ピアノを担当させていただくことになりました。昨年の「夢のプロオーケストラとの協演」に出演させていただき、そのときに平光先生と伴先生より声をかけていただいて、大変有り難く思っております。

今までにも声楽のソロや楽器のソロの伴奏は経験がありましたが、合唱団は初めてです。正直、「合唱」というと、小学校や中学校の音楽の授業のような合唱の伴奏を想像していました。ところが、それとは全く違っていました。伴奏ピアニストとして、臨機応変さや、高度なことが求められ、歌との呼吸を合わせたり、ただ弾くだけでなく、ソロのときと同様いろいろな種類の音色を求められたりします。まだまだ勉強不足だと痛感し、毎週反省、そして練習の繰り返しです。

しかし、自分のソロの演奏にも生かせることばかりで、とても勉強になり、実になれば自分がピアニストとしてまた一段落成長できると思っています。普段は穏やかで優しい柔らかい印象の平光先生ですが、練習になると熱のこもったすばらしいご指導で、指揮者から毎週レッスンが受けられることはとても幸せなことだと思いました。

合唱団のみなさんも、音楽が、歌うことが大好きなんだという気持ちが伝わってきます。私は声楽は大学1年と2年のときに副科の授業で少し学んだだけで、しっかりした発声法も学んでおらず、みなさんに的確なアドバイスができず、申し訳ありません。

団長さんをはじめ、スタッフの方々が懸命にコロナ対策をされており、ピアノの消毒も毎回とてもたいへんなのですが、そのおかげでピアノが弾けます。本当にいつもありがとうございます。コロナに負けず、どうかこの先も合唱団が末永く続いていくことを願っております。

和田 紋加

### 和田紋加先生のプロフィール

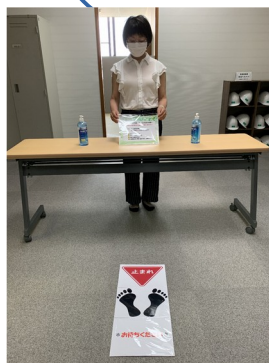
岐阜市出身 名古屋芸術大学演奏学科ピアノコース卒業。在学中、定期演奏会、卒業演奏会等、多数の演奏会に出演。第29回回窓会新人演奏会に出演。中部フィルハーモニー交響楽団、名古屋芸術大学オーケストラとピアノ協奏曲を共演。第18回ジュニアピアノコンクール(岐阜新聞主催)金賞、岐阜市教育委員会賞。第4回横浜国際音楽コンクール第1位。第2回クオリア音楽コンクール第1位。第15回日本演奏家コンクール第2位。第3回岐阜ピアノコンクール金賞。第9回岐阜新進演奏家コンサート出演。第21回KOBEL国際音楽コンクール奨励賞。岐阜市洋楽部会推薦リサイタルシリーズ出演。カワイ名古屋にてジョイントコンサート出演。セントラル愛知交響楽団室内楽シリーズ出演。ハンガリー・リスト音楽院にてセミナーを受講し、修了演奏会に出演。

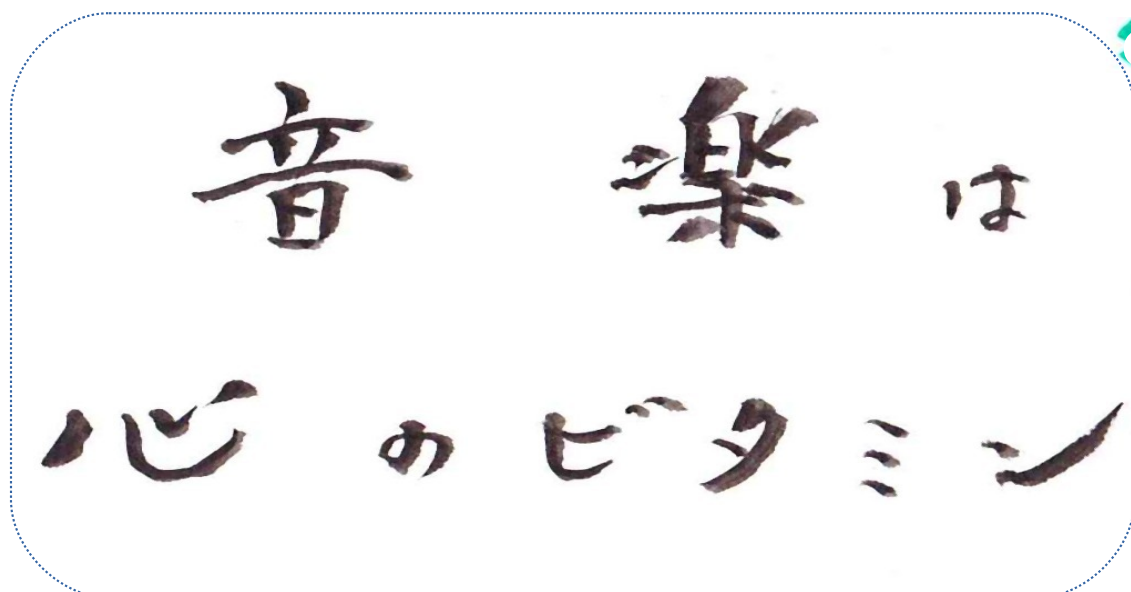
## 練習会場での感染対策実践の様子

**練習風景**  
ソーシャルディスタンスをしっかりとって、印のところに立っています



手作りパーティションを設置し検温と問診 足元には手作りのフロア誘導シール！





岐阜ソプラノ 坪内浄嘉さん書

★ 9月～10月 練習予定 ★

**Aグループ 18：00～19：10      Bグループ 19：30～20：40**

**各グループとも10分前には集合しましょう**

月 日	岐 阜	月 日	大 垣
9月3日(木)	長森コミュニティセンター合同練習 A・Bグループでの二部体制	9月3日(木)	長森コミュニティセンターで合同練習 A・Bグループでの二部体制
9月10日(木)	長森コミュニティセンター合同練習 A・Bグループでの二部体制	9月10日(木)	長森コミュニティセンターで合同練習 A・Bグループでの二部体制
9月17日(木)	長森コミュニティセンター合同練習 A・Bグループでの二部体制	9月17日(木)	長森コミュニティセンターで合同練習 A・Bグループでの二部体制
9月24日(木)	長森コミュニティセンター合同練習 A・Bグループでの二部体制	9月24日(木)	長森コミュニティセンターで合同練習 A・Bグループでの二部体制
10月1日(木)	長森コミュニティセンター合同練習 A・Bグループでの二部体制	10月2日(金)	大垣市南地区センター (未定)
10月8日(木)	長森コミュニティセンター合同練習 A・Bグループでの二部体制	10月9日(金)	大垣市南地区センター (未定)
10月15日(木)	長森コミュニティセンター合同練習 A・Bグループでの二部体制	10月16日(金)	大垣市南地区センター (未定)
10月22日(木)	長森コミュニティセンター合同練習 A・Bグループでの二部体制	10月23日(金)	大垣市南地区センター (未定)
10月29日(木)	長森コミュニティセンター合同練習 A・Bグループでの二部体制	10月30日(金)	大垣市南地区センター (未定)

**★10月の練習時間・体制は、変更になるかもしれませんので、ご注意ください。**